



解説編！

と の 尼崎運河の環境を良くする研究

環境学習会の波及効果を明らかに

環境学習会に参加した児童の家庭での伝達により保護者の尼崎運河の環境

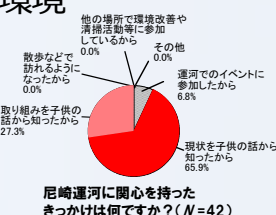
への関心が

高まる

ことを

明らかに

しました。



尼崎運河での環境学習会は、児童のみならず、間接的に保護者へも効果が波及することを明らかにしました。

【解説】

・尼崎運河では、尼崎市、尼崎運河〇〇クラブ、尼崎キャナルガイドの会、徳島大学が協力して小学生向けの環境学習会を行なっています。

・環境学習会の効果の把握は簡単ではないのですが、学習会に参加した児童が帰宅後に自宅で体験会のことを伝えた際の効果をアンケート調査により明らかにしました¹⁾。

・環境学習会では、水質汚濁とその改善方法(生物浄化)を学び、物質と命の循環の大切さを伝えています。右の表が具体的な学習内容です。

表 学習内容¹⁾

項目番号	学習内容	位置づけ
①	運河の水が濁っていたこと	水質汚濁
②	ヘドロがあったこと	
③	ヘドロの色やにおいのこと	
④	運河の水には海水(塩分)が混ざっていること	水質特性
⑤	運河の表層には淡水、底層には海水があり、水が混ざりにくくなっていること	
⑥	水深によって住んでいる生物量が違うこと	二次汚濁
⑦	運河の底層は酸素が不足し、生物が住んでいないこと	
⑧	運河には魚、カニ、アサギなどの生物が住んでいること	生物
⑨	運河にはコウエンツバギという貝がたくさんいたこと	
⑩	コウエンツバギやアサギなどの貝は水中の濁りをきれいにしてくれること	水質浄化

・アンケート結果より、学習会に参加した児童が保護者に尼崎運河での環境学習会のことを話すことで尼崎運河への興味関心が高まることができました(下図)。

・尼崎運河の環境学習会は、2024年度も実施されました。

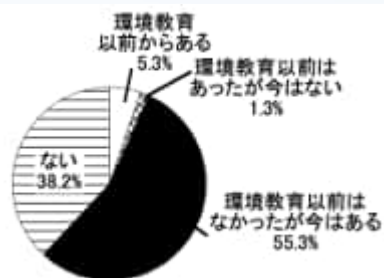


図 保護者の尼崎運河に対する興味・関心の変化¹⁾

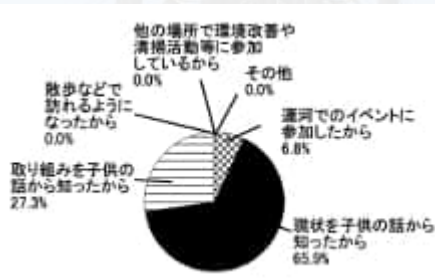


図 保護者の尼崎運河に対する興味・関心の変化のきっかけ¹⁾

¹⁾森ら(2010)：尼崎運河における水質汚濁と水環境再生を主題とした環境教育の波及効果
沿岸域学会誌, 23 巻 2 号 p. 63-74 (2013年日本沿岸域学会論文賞を受賞)